

# 松野歴史かるた

白鬚神社、文殊堂、東光寺

# 調べた動機

松野に住んでいても、まだまだ知らないことがいっぱいあり、気になったので調べました。私たちも12年間松野に住んでいますが、まだまだ知らないことがたくさんありました。なので楽しんで聞いてください。

# 白鬚神社

猿田彦の大神を大黒様にまつりました。室町時代1400年頃に土地として、売られたのがこの白鬚神社です。ここには、樹齢400年から500年のおがたまの木があり、ご神木として今でもあがめられています。

白鬚神社の神様の名前は、何でしょうか。

①猿丸大神

②申耶麻大天神

③猿田彦大神

# 答え

③番の

猿田彦大神です

# 東光寺の解説

山門をくぐると、笑顔の(ほていさん)が迎え、境内には、六地藏、ほていさんは、中国で、宝珠護国前肢ともいうそうです。



東光寺の門の奥にいる仏像の名前は、  
何というでしょうか

① 東光さん

② ほていさん

③ 白鬚さん

# 答え

②番の

ほていさんです。



# 文殊堂の歴史

山梨県の市川大門に、  
奉られていたが、大洪水によって2度、  
松野にながれて来たので奉っている。  
(知恵の神様として知られていて毎年2  
月に祭典が行われており、奉納演舞  
が披露されてる)

文殊堂では、毎年何月に祭りがおこなわれているでしょうか？

① 9月

② 2月

③ 8月

答えは・・・

②の

2月です。

# まとめ

これらを通して松野の詳しい歴史を知れたし、松野の今までわからなかった事がわかりました。